新春 俳句コンクール　高校生の部

優秀賞

友そばにいればいつでも秋きれい

矢板東高校 二年 高久 ひまり

修学旅行で友と見た秋の景色を思い浮かべて、この句を詠みました。大切な人と四季の美しさを感じることができる喜びを表現しました。この句を見て、穏かと過ごした秋のひとときを思い出していただければ幸いです。

たかく ひまり　栃木県矢板市

秋風や退部届の黒インク

上田高校 二年 田口 裕唯

秋の句を考えた時、歴史の教科書に載っていた塚木の歌を思い出した。「地図の上朝鮮国にくろぐろと墨をぬりつゝ秋風を聴く」。この歌から秋風の彩りのなさを連想し、白黒の退部届の寂しいイメージと合わせました。

たぐち ゆい　上田市

入選

ひとすじの雲や私は秋の野へ

松商学園高校 二年 内川 志朗

秋空にかかる「巻雲」は「すじ雲」とも呼ばれ、見ていて気持ちがいいなと小さな頃から思ってきた。高校生活もあと後半。自分の進路を思い歌みました。

うちかわ しろう　松本市

思いきり好きになりたし蛞蝓

名古屋高等学校 二年 福田 匠翔

人を思いきり好きになりたいという感情がある。そんな中でナメクジ（蛞蝓）を見ている。ナメクジはお気に入りの句材だが、取り合わせに使ったのは初めてだ。

ふくだ たくと　名古屋市

太陽に手を差し伸べる林檎狩り

矢板東高校 二年 藤田 梨世

10月にボランティアで参加した子どもたちとの林檎狩りの情景を句にしました。私の通う学校がある栃木県矢板市も林檎が有名です。とてもうれしいです。

ふじた りょ　栃木県矢板市

一段と弦音の高く弓始

長野日本大学高等学校 二年 北澤 花音

毎年、部員全員で行う新年の初射会は、緊張感のある清んだ空気に包まれます。弦音もいつもとどこか異なり、その響きに自然と身が引き締まります。

ほうじょう かのん　長野市

奨励賞

不格好な愛も良いもの青りんご
松本市 松商学園高校3年 大倉元奈 おおくら げんな

林檎風呂今日は長めに君想う
松本市 松商学園高校2年 太田琉偉 おおたるい

講堂の椅子の薄さよ秋湿り
安曇野市 穂高学園高等学校高等部1年 澤谷刻子 おびたに とうこ

将来を考えている林檎風呂
松本市 松商学園高校2年 小林弦生 こばやし げんき

再会は記念に植えたりんごの木
松本市 松本県ケ丘高校3年 柴田稔子 しばた かこ

秋の幕手元のクッキーあと一枚
長野市 市立長野高校1年 富田澪咲妃 とみた みさき

「林檎」の句 新鮮な切り口

最優秀・桃谷さん　林檎園の林檎がびっしりと赤く色づき、その上の秋の空の色との境界がはっきりしました。まるで空のかたちが固まったようです。

優秀・田口さん　退部への寂しい気持ちを直接書かず、秋風と黒インクの文字という「物」に思いを託したことで、より寂しさが伝わってきました。

全体評　兼題の「林檎」では、林檎風呂や林檎の記念樹など、他県では見られない切り口の句が新鮮でした。高校生の部は新設ですが全国から応募があり、応募総数は少ないものの、多くの秀句に出あえました。高校生は、5人一組で戦う「俳句甲子園」で全国を目指してみるのも面白いですよ。

他者を思う心 繊細さ生む

最優秀・高橋さん　スマートな出来とは言えない林檎の飾り切りだったのでしょう。不器用ながらも頑張ってくれた君の愛情が何よりうれしい。

優秀・高久さん　秋は美しい季節であると同時にどこか寂しさも感じます。しかし、大切な友が側にいてくれる時、その秋はひたすら美しい。

全体評　誰も他者が多く作品に登場したのが高校生の部でした。特徴的なのは家族以外の大切な存在が詠まれていることでしょうか。相手の気持ちを想像し、行動する素晴らしさ。難しさが、俳句に繊細な影響を与えているように見えました。〈思いきり好きになりたし蛞蝓〉〈不格好な愛も良いもの青りんご〉等の愛情の複雑さも作品に深い味わいを加えています。

迎春　2025 元旦

本年もよろしくお願い申し上げます

関東地区

株式会社 東京ニュース通信社　代表取締役 奥山 卓
中越パルプ工業株式会社　代表取締役 福本 亮治
ウチヤ・サーモスタット株式会社　代表取締役 清水 澄人
株式会社 スチラメディア　代表取締役 宮澤 和弘
株式会社 財宝　代表取締役 水迫 正章

関西地区

エア・ウォーター株式会社　豊田 喜久夫
遠州長野県人会　会長 髙坂 昌利
株式会社 KKS　代表取締役 犬飼 政之

東海・中京地区

名古屋長野県人会　会長 宮嵜 良一

内装設備工業株式会社　取締役会長 成澤 學
理事長 アイエスティーパートナーズ 髙野 真弓
菊池運輸株式会社　代表取締役 菊池 正
理事 小林 宗郷
ミヤリサン製薬株式会社　代表取締役 鵜野 浩司
山印醸造株式会社　代表取締役 石川 佳一
スターツコーポレーション株式会社　取締役 村石 久二
公益財団法人 村石スポーツ振興財団　理事長 岸本 壮吾
株式会社 ヨシムラ 芳村精機株式会社　代表取締役 木村 武雄
株式会社 みや通信　坊野 秀美
東和電気工業株式会社　代表取締役 田中 義忠

2025年1月1日 朝刊 特集 The Shinano Mainichi Shimbun. All rights reserved.